

学校法人 金沢医科大学 平成20年度決算

学校法人金沢医科大学の平成20年度決算が、去る5月29日(金)開催の第200回理事会及び第106回評議員会において承認されました。その概要及び収支等の状況は次のとおりです。

1. 概要

私学を取り巻く厳しい経営環境が続く中、平成20年度は、金沢医科大学氷見市民病院の開設をはじめ、病院別館の改修工事、看護師宿舎の建設、医学部特別奨学金貸与制度の継続、高度先進研究機器の整備などの事業を実施しました。同時に、将来の退職金債務に備えるための資金確保についても予定額の積立てを行いました。

しかしながら、平成20年9月からの世界的な金融不安と急激な円高が影響して、保有している仕組債の時価が大幅に減少したため、平成20年度決算において、金沢医科大学資産運用規則に基づき、購入価額の50%以上時価が下落した債券について、下落分を有価証券評価差額として計上いたしました。有価証券評価差額は平成21年3月末の時価で33億5千万円となりました。この評価損の計上は損失の確定ではありません。今後、評価換えした仕組債が償還された場合、評価損の額が利益として収支決算に計上されます。

なお、帰属収入から有価証券評価差額計上前の消費支出を差引いた収支差額は、1億3千万円の収入超過という結果になりました。

2. 消費収支計算書の状況

【主な収入】

(1) 学生生徒等納付金

看護学部生の増加等により、前年比1千1百万円増の45億9千4百万円となりました。学生数は、医学部生658名、大学院生66名、看護学部生126名、看護専門学校生67名の合計917名です。

(2) 寄付金

寄付金総額は、前年比1億7千1百万円減の5億6千4百万円となりました。

(3) 補助金

補助金総額は、前年比6億7百万円増の20億3千6百万円となりました。

増加の主なものは、病院別館改修及び看護師宿舎建設に係る医療提供体制施設整備補助金で、4億9千5百万円が交付されました。

文部科学省研究装置・設備補助金は、MRI装置やアトミーセンター改修事業など7件が採択され、前年比1億1千4百万円増の3億3千8百万円が交付されました。

(4) 医療収入

医療収入総額は、前年比2千5百万円の増、当初予算比8千6百万円の増となる170億2千万円となりました。

入院収入は、病床利用率が81.3%と前年比0.4ポイント増、診療単価が前年比3.1%上回りましたが、入院延患者数が前年比3.6%減少したことなどにより、前年比5千3百万円減の128億3千1百万円となりました。

一方、外来収入は、外来延患者数が2.6%減少しましたが、診療単価が前年比5.2%の増加となったこと等により、前年比7千8百万円増の41億8千9百万円となりました。

なお、医療収入の帰属収入に占める割合は67.8%（前年度67.4%）となりました。

【主な費用】

(1) 人件費

教員人件費は前年比3千4百万円減の35億7千2百万円、職員人件費は看護師確保等により前年比1億4千4百万円増の72億3千2百万円、役員報酬は前年比2千1百万円増の9千1百万円、退職給与引当金繰入額及び退職金は前年比1千5百万円減の6億7千6百万円となり、人件費総額では前年比1億1千6百万円増となる115億7千1百万円となりました。また、退職金支出は、定年及び早期退職制度による退職等を含め、126名に4億9千3百万円を支出しました。

なお、人件費の帰属収入に占める割合は46.1%（前年度45.5%）となりました。

(2) 教育研究経費

前年比5千4百万円増の15億5千2百万円となり、引き続き教育研究の充実を図りました。

(3) 医療経費

前年比3億6千2百万円増の85億7千7百万円となりました。薬品費が8千6百万円増加しましたが、医療材料費が6千4百万円の減となりました。また、医療経費には、病院別館改修工事及び看護師宿舍建築工事に係る撤去費用が2億4千3百万円含まれています。

なお、医療経費の医療収入に占める割合は50.4%（前年度48.3%）また、帰属収入に占める割合は34.2%（同32.6%）となりました。

(4) 減価償却額及び処分差額等

減価償却額及び資産処分差額の合計額は、有価証券評価差額を除き前年比2億5百万円増の27億1千2百万円となりました。

以上により、有価証券評価差額を除いた平成20年度の消費支出の部合計は、前年比7億6千万円増の249億7千万円となりました。

この結果、帰属収入の部合計251億円から、有価証券評価差額を除いた消費支出の部の合計249億7千万円を差引いた収支差額は、前年比8億5千9百万円減となる1億3千万円となりました。

消費収支計算書

(自)平成20年4月1日

(至)平成21年3月31日

(単位：百万円)

消費収入の部			消費支出の部		
科目	金額	前年比	科目	金額	前年比
学生生徒等納付金	4,594	11	人件費	11,571	116
手数料	157	1	教育研究経費	1,552	54
寄付金	564	171	医療経費	8,577	362
補助金	2,036	607	管理経費	557	22
資産運用収入	389	581	借入金等利息	1	1
事業収入	205	2	減価償却額及び	2,712	205
医療収入	17,020	25	資産処分差額等		
雑収入	135	13			
帰属収入合計	25,100	99	消費支出の部合計	24,970	760
			(収支差額)	(130)	(859)
基本金組入額	2,396	1,588	有価証券評価差額	3,351	3,351
消費収入の部合計	22,704	1,687	消費収支差額	5,617	5,798

(注) は計算書式上のマイナス表示、 は比較上のマイナスを表示(以下同じ)。
前年比は平成19年度決算との比較です。

3. 資金収支計算書の状況

【主な資金収入・支出】

消費収支計算書で説明した項目については割愛させていただきます。

(1) 借入金等収入

期中の運転資金として銀行から10億円を借入れしました。

また、教育振興資金(学校債)を募集し3億1千8百万円の資金調達を行いました。

(2) 借入金等返済支出

期中に借入れた短期借入金10億円を返済しました。

また、学校債の定期償還及び繰上償還等で5億3千1百万円の償還を実施しました。

(3) 施設・設備関係支出

施設関係では、内灘町所有の土地2,370㎡(約717坪)を1億8百万円で購入いたしました。また、病院別館改修工事に12億1千1百万円、看護師宿舎建設工事に11億3千2百万円、動物飼育・実験室改修工事に9千万円ほかで、合計30億6千7百万円を支出しました。

設備関係では、磁気共鳴画像診断装置2億9千9百万円(うち、補助金交付額1億9千1百万円)、共焦点レーザースキャン顕微鏡4千9百万円(うち、補助金交付額2千5百万円)、光トポグラフィ装置3千8百万円(うち、補助金交付額2千5百万円)、タンパク質発現差異解析システム3千4百万円(うち、補助金交付額2千3百万円)ほかで、合計11億1千5百万円を支出しました。

(4) 資産運用支出

将来の退職金債務に対する財源を確保するため退職給与引当特定資産に5億円、医学部奨学事業引当特定資産に1億円の合計6億円を計画どおり積立てました。

また、平成20年4月から富山県氷見市の指定管理者として運営を開始した金沢医科大学氷見市民病院への元入金として4億3千3百万円を繰り入れました。

以上の資金収支計算の結果、平成20年度の次年度繰越支払資金(手持運転資金)は前年比20億1百万円減となる42億5千6百万円となりました。

資 金 収 支 計 算 書

(自)平成20年4月1日

(至)平成21年3月31日

(単位：百万円)

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	金 額	前年比	科 目	金 額	前年比
学生生徒等納付金収入	4,594	11	人件費支出	11,389	52
手数料収入	157	1	教育研究経費支出	1,552	55
寄付金収入	531	188	医療経費支出	8,587	387
補助金収入	2,036	607	管理経費支出	557	22
資産運用収入	389	581	借入金等利息支出	1	1
事業収入	205	2	借入金等返済支出	1,531	1,165
医療収入	17,020	25	施設関係支出	3,067	2,825
雑収入	135	13	設備関係支出	1,115	256
借入金等収入	1,318	808	資産運用支出	1,033	83
前受金収入	3,698	231	その他の支出	2,716	291
その他の収入	4,678	927			
資金収入調整勘定	7,663	63	資金支出調整勘定	2,449	66
前年度繰越支払資金	6,257	419	次年度繰越支払資金	4,256	2,001
収入の部合計	33,355	1,870	支出の部合計	33,355	1,870

(注) は計算書式上のマイナス表示、 は比較上のマイナスを表示(以下同じ)。
前年比は平成19年度決算との比較です。

4. 貸借対照表の状況

【主な増減】

(1) 資産の部

資産総額は、前年比33億7千7百万円減の55億9千8百万円となりました。これは有価証券を充当していた減価償却引当特定資産が時価の下落により33億5千1百万円減少したためです。

収益事業元入金は、金沢医科大学氷見市民病院の運転資金として4億3千3百万円を繰り入れたものです。

退職給与引当特定資産は、積立分が増加し61億3千8百万円となりました。これは、退職給与引当金期末残高の81.6%に相当します。

流動資産のうち、現金預金は20億1百万円減の42億5千6百万円となりました。

(2) 負債の部

負債総額は、前年比1億5千6百万円減の18億1千9百万円となりました。

退職給与引当金は、取崩しと繰入れを行った結果、前年比1億8千2百万円増の75億1千9百万円となりました。

(3) 正味財産は、前年比32億2千1百万円減の37億7千9百万円となりました。

この結果、資産総額に対する正味財産の割合は67.5%となり、前年度より1.6ポイント減少しました。

なお、情報公開の一環として、平成20年度財務関係書類（財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書及び監査報告書）を本学のホームページ上に掲載しています。
(<http://www.kanazawa-med.ac.jp> 「事業報告及び決算について」)

貸借対照表

平成21年3月31日現在

(単位：百万円)

資産の部			負債の部		
科目	金額	前年比	科目	金額	前年比
固定資産	47,754	1,743	固定負債	11,322	22
土地	3,206	108	学校債	3,803	204
建物、構築物他	24,874	1,251	退職給与引当金	7,519	182
教育研究用機器備品他	7,454	216	流動負債	6,837	134
収益事業元入金	433	433	学校債	390	10
退職給与引当特定資産	6,138	500	未払金	2,433	70
減価償却引当特定資産	4,749	3,351	前受金他	4,014	194
施設拡充引当特定資産	0	1,000	負債の部合計	18,159	156
海外交流引当特定資産	500	0	正味財産の部		
奨学事業引当特定資産	400	100	科目	金額	前年比
流動資産	8,184	1,634	基本金	63,495	2,371
現金預金	4,256	2,001	消費収支差額	25,715	5,592
未収入金	3,728	371	正味財産の部合計	37,779	3,221
貯蔵品他	200	4			
資産の部合計	55,938	3,377	負債の部及び正味財産の部合計	55,938	3,377

(注) 減価償却額の累計額は29,289百万円、徴収不能引当金の合計額は19百万円です。

退職給与引当金の額は、期末要支給額7,519百万円の100%を計上しています。

5. 金沢医科大学氷見市民病院の状況

(1) 貸借対照表

資産総額は9億1千3百万円、負債総額は5億3千2百万円、純資産は3億8千1百万円となりました。

流動資産は、9億6百万円となりました。うち、現金預金は病院会計窓口釣銭用の小口現金で5百万円、未収入金は、医療未収入金、氷見市からの交付金等の補助金未収入金ほかで8億2千万円となりました。

流動負債のうち未払金は、医薬品等材料費の未払分、氷見市への指定管理者負担金、退職金や3月の超過勤務手当などの未払人件費で3億3千6百万円となりました。

預り金は、給与からの住民税や所得税、共済掛金などの徴収分ほかで、3千5百万円となりました。賞与引当金は、平成21年6月に支払う予定の期末手当について、同20年の12月から同21年3月までの4ヶ月分を積算し、1億1千3百万円を計上しました。

(2) 損益計算書

医療収益3億8千4百万円に対し医療費用が4億2千7百万円で、差引医療収益は3億2千3百万円の赤字となり、医療外収益2億7千1百万円を含めた当期経常利益は5千2百万円の支出超過となりました。

医療収益のうち、入院収益は2億4千5百万円、外来収益は1億7千2百万円、治験等の受託事業収益は4百万円、テナント家賃や駐車場賃貸料等の施設設備利用収益は9百万円となりました。

医療費用のうち、医薬品費や医療材料費等の材料費で1億3千4百万円、給料や賞与等の給与費で2億1千5百万円、検査委託、給食委託、清掃委託等の委託費で3億9千6百万円、減価償却費、修繕費、損害保険料等の設備関係費で7千7百万円、消耗品費、光熱水費、旅費交通費等の経費で2億1千1百万円、氷見市への指定管理者負担金で6千9百万円となりました。

医療外収益は、寄付金収益で4百万円、氷見市からの交付金2億5千万円を含めた補助金収益は2億6千6百万円となりました。

金沢医科大学氷見市民病院 貸借対照表
平成21年3月31日現在

(貸借対照表)		(単位:百万円)	
科目	決算額	科目	決算額
流動資産	906	流動負債	484
現金及び預金	5	未払金	336
未収入金	820	預り金	35
徴収不能引当金	2	賞与引当金	113
貯蔵品	81	その他	0
その他	2	固定負債	48
固定資産	7	退職給付引当金	48
工具器具備品	7	負債の部合計	532
		純資産	381
		元入金	433
		利益剰余金	52
		純資産の部合計	381
資産の部合計	913	負債・純資産合計	913

金沢医科大学氷見市民病院 損益計算書
(自)平成20年4月1日
(至)平成21年3月31日

(損益計算書)		(単位:百万円)	
科目	決算額	科目	決算額
医療収益	3,884	医療費用	4,207
入院収益	2,145	材料費	1,304
外来収益	1,726	給与費	2,150
受託事業収益	4	委託費	396
施設設備利用収益	9	設備関係費	77
		経費	211
		指定管理者負担金	69
		医療利益	323
医療外収益	271	医療外費用	0
寄付金収益	4		
補助金収益	266		
雑益	1	経常利益	52